

A MASATO HARADA FILM

THE EMPEROR IN AUGUST

役所広司 本木雅弘 松坂桃李 堤真一 山崎努

原作：半藤一利「日本のいちばん長い日 決定版」(文春文庫刊)

監督・脚本：原田眞人

日本のいちばん長い日

降伏か、本土決戦か――。

その決断に、
すべての希望は託された。

柳野三弥 蓮佛美沙子 大塚寧正 小松和重 中村育二 山路和弘 金内喜久夫 額川でんし 久保新吉 奥田達士 嵐芳三郎 井之上隆志 矢島健一 木嶋陽己 中嶋しゅう 藤赤京 戸塚祥太 (A.B.C-Z) 田中美央 岡口明彦 田島俊太郎 茂山茂 植木潤 宮本裕子 / 戸田恵梨香 (特別出演)・キムラ緑子 野間口徹 池坊由紀 松山ケンイチ (特別出演)
製作総指揮：高津浩一 スチール・アドバイザー：田嶋良雄 監製：阿部・サトシ 脚本：高津浩一 演出：原田眞人 監督：原田眞人 スクリュー：山内康 撮影：高津浩一
VFXスーパーバイザー：オグサワセイ キュウジン・エッセイ 美術：藤原和久 衣裳デザイナー：高津浩一 ヘアメイク：高津浩一 音楽：高津浩一 音楽制作：高津浩一 音楽制作：高津浩一 音楽制作：高津浩一
サウンド：SHOCHIKU RECORDS 監修：アスミック・エス 協力：新プロダクション 企画協力：経済企画庁 文芸春秋 協力：松山 海上自衛隊 竹島島方：京都府 ©2015 日本一のいちばん長い日 製作委員会

8.8 SAT
www.nihon-ichi.jp

1945年8月15日、終戦。戦争終結のために命をかけた男たちの感動の物語。 facebook.com/nihon.ichi.movie twitter.com/nihon.ichi 〒150-8501 東京都渋谷区

終戦——日本の未来を信じ、戦争を終わらせるために闘った、実在の人々

陸軍600万人を率いる



〔役所広司〕

阿南惟幾

(1887-1945 享年58歳)

陸軍大臣。陸軍大学校入試に3度失敗し、成績も凡庸だったが、「智将でも政将でもないが、徳将だった」とその人格を称えられる。1929年から1933年、鈴木貫太郎が侍従長として天皇に仕えた間、侍従武官として天皇に仕えた。陸軍600万人の代表として本土決戦を主張するが、天皇陛下の聖断を拜してからは陸軍の暴走を止めることに腐心すると共に、天皇の身を案じる。1943年に次男は戦死。戦後、夫人の綾子は出家し、夫を含む戦没者の菩提を弔う余生を送った。

国民を想い、平和を追求する



〔本木雅弘〕

昭和天皇

(1901-1989 享年87歳)

日本の第124代天皇。御名を裕仁(ひろひと)、称号は迪宮(みちのみや)。在位は1926年からで、その期間は最も長く、また最も長寿であった。20歳の時、半年間にわたりヨーロッパ諸国を訪問、特にイギリスでは日英同盟のパートナーとして歓迎を受ける。この海外渡航は皇太子として史上初である。永年にわたり、生物学者としてヒドロ虫類等の海洋生物や草花等の植物の分類研究を続け、著書も多数出版された。

内閣を率いて閣議を動かしていく



〔山崎努〕

鈴木貫太郎

(1868-1948 享年80歳)

第42代内閣総理大臣。海軍提督、海軍軍令部長のち、1929年から1936年の間、侍従長として天皇に仕える。1936年、二・二六事件で銃弾4発を受けるが一命をとりとめた。枢密院副議長・岡議長を経て、1945年4月7日、内閣総理大臣に就任。同年8月15日、玉音放送の後、総辞職。歴代最年長の77歳で総理大臣に任命され、終戦に向けて尽力した。

軍部

上司 ↑ ↓ 部下



〔松坂桃李〕

畑中健二

(1912-1945 享年33歳)

陸軍少佐。日本の未来を想い、終戦に反対する若手将校。皇居を占拠するクーデター首謀者の一人。

本土決戦を主張、クーデターを計画する

迫水久常

(1902-1977 享年74歳)

内閣書記官長。大蔵省総務局長、内閣参事官などを歴任。鈴木首相就任時に、義父である岡田啓介元総理大臣に命じられて組閣本部を仕切り、書記官長に就任。



〔眞真一〕

首相を献身的に支え続ける

内閣

献身 ↑ ↓ 信頼

〔原作〕



終戦をめぐる24時間を、綿密な取材と証言で再現する、傑作ノンフィクション!

「日本のいちばん長い日 決定版」

半藤一利 著 文春文庫 定価648円(税込)

〔関連書籍〕



天皇陛下から終戦を託された老宰相の、熱く、静かなる闘い!

「聖断 昭和天皇と鈴木貫太郎」

半藤一利 著 PHP文庫 定価885円(税込)

〔関連書籍〕



戦争終結に至るまでの息詰まるドラマと、軍人の姿を描いた傑作!

「一死、大罪を謝す 陸軍大臣阿南惟幾」

角田房子 著 ちくま文庫 定価1,188円(税込)

8.8 SAT ROADSHOW

終戦70年
THE SEVENTY YEARS
TO THE END OF THE SECOND WORLD WAR



戦後70年を迎える今だからこそ、伝えたい—— 日本の未来を信じた人々、1945年8月15日の知られざる真実。

戦争終結のために、
彼らが下した日本史上最大の決断とは——

今日も世界のどこかで、戦いが続いている。もはや日本の平和もいつまで続くのか、誰にもわからない。おりしも戦後70年の節目となる今年、日本が終戦に至るまでの波乱に満ちた道のりと、終戦前夜に起きた大事件の“知られざる真実”を解き明かす物語が完成した。太平洋戦争末期、戦況が絶望的となった1945年4月、鈴木貫太郎内閣が発足。そして7月、日本は連合軍から、ポツダム宣言（日本に対し無条件降伏を求める共同宣言）の受諾を迫られる。降伏か、

本土決戦か——連日連夜、閣議が開かれるが、議論は紛糾。降伏勧告を黙殺すると発言した日本に、アメリカは原爆を投下、広島と長崎で何十万もの命が散る。

8月14日に御前会議が開かれ、天皇の聖断のもと、ついに閣僚たちは降伏を決定。だが、終戦に反対する若手将校たちはクーデターを計画、皇居やラジオ局への占拠へと動き始める。そのときから、終戦を知らせる天皇の玉音放送が国民に届く8月15日の正午まで——この“日本のいちばん長い日”に、一分一秒ごとに変わっていった日本の運命とは——？

最高峰の演技派キャスト総出演、
衝撃と感動の歴史超大作

原作は半藤一利の傑作ノンフィクション「日本のいちばん長い日 決定版」。さらに2014年に宮内庁から発表された「昭和天皇実録」を参考に、今だからこそ描ける歴史の裏側に迫る。陸軍の軍政を掌る地位に立ちながらも、天皇の身を案じて苦悩する陸軍大臣・阿南惟幾に役所広司。国民を想い平和を求める昭和天皇に本木雅弘。終戦に向け、思わぬ手を打つ鈴木貫太郎首相に山崎 努。首相をサポートする迫水久常内閣書記官長に堤 真一。

本土決戦を主張し、クーデターを計画する畑中健二陸軍少佐に松坂桃李。密室の閣議で緊迫した心理戦を繰り広げ、日本の礎を築くために命を懸けた人々の“戦いをやめるための闘い”が胸に迫る。監督・脚本は、社会派ドラマ「クライマーズ・ハイ」や、家族の姿を描いた「わが母の記」で、モントリオール世界映画祭審査員特別グランプリに輝いた原田眞人。史上最大の危機を迎えた日本で、一体何があったのか？ すべての日本人に伝えたい、戦後70年の壮大な記念碑となる感動作が、ここに誕生した。

